

日本科学未来館見学印象記

2024/3/2 吉田泰弘

日時 2024/3/2 PM2:00～3:00

印象まとめ

展示が、機械、メカ、電気でなく、人間、コンピュータ、環境などの、学校ではあまり教えない、**新しい分野、未来技術**に踏み込んでいる展示かなと思った。

自分は、機械系の大学院、機械メカの設計をずっとやってきたが、それで難しい展示内容だった。

難しいことを、パネル操作や、動くもので展示しようとするところはあるが、残念ながら中身は難しく理解できなかった。

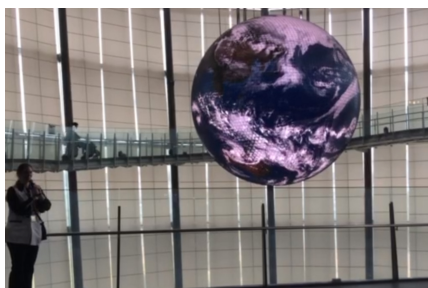
ボランティアワゴントーク、や科学コミュニケーターの Co studio は良いと思うが、テーマがちよっと自分の身近でないように思った。

でも、こういう**目の前のミニ教材を置いて、目の前で担当スタッフが説明する展示は良い**と思った。

下記は見たものを、並べただけの記載です。

①ソフトグリップ機構

最先端の機構の展示と思うが、中身の構造がわからず、単に、すごいなという感想。



②地球が展示

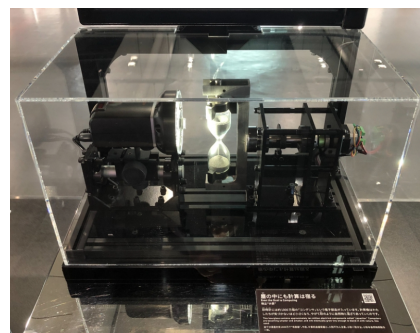
テレビ素子を球形にして地球にした。

ここに 90 日分に雲の動きを早送りで表示。

雲の動きがわかったけど。。

③チリの中にも計算は宿る

なんのこと？ 意味は理解できなかった。



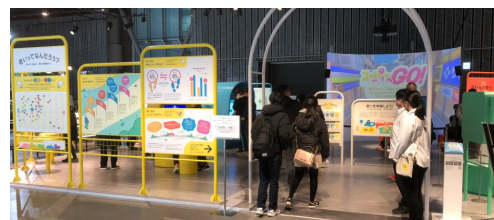
④物理と計算機

計算機の中を、黒と白のボールで表示。

なにかボールが動いていたけど。

⑤老いて何だろう

体験できる？



⑥ボランティアワゴントーク

3人のボランティアが机（ワゴン）で説明
実施していた。

実験のものは、時間決めてやる。



⑦きみの作る脳内回路

頭の中では、たとえば・・・で見たた情報を・・・で判断とかそういうことがボタンを押すとわかる？

⑧循環を乱す人間の活動

ということでパネル展示



⑨私たちに災害のリスクだどんなものがあるかを、代目で動くもので展示

⑩ミニステージで科学コミュニケータが説明 Co Studio

自分が見たときは 14:15 の確率はどういうことかを説明していた。

1日5回くらい

以上

